

専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新

よく寄せられる質問

概要

マイクロソフトは、アウトソーシング権と専用ホストによるクラウド サービスに関するライセンス条項を改定しました。

以前のマイクロソフトのアウトソーシング条項では、オンプレミスのお客様は、従来のアウトソーシング企業からリースし、その企業によって管理されているハードウェアにマイクロソフト ソフトウェアを展開することができました。専用ホストによるクラウド サービスの登場に伴い、従来のアウトソーシング サービスとクラウド サービスの線引きがあいまいなものとなり、クラウド サービスでオンプレミスのライセンスが使用されるようになりました。こうした状況を受け、マイクロソフトはオンプレミス ライセンスのアウトソーシング条項を改定しました。改定によって、オンプレミス/従来のアウトソーシング サービスとクラウド サービスの区別を明確にし、マルチテナント クラウド サービスと専用ホストによるクラウド サービス間のライセンス条項の一貫性を高めることが目的です。この改定は、2019 年 10 月 1 日以降に取得されたライセンスに影響します。

発表の全文については、マイクロソフトの[ライセンスに関するブログ記事](#)をご覧ください。これらの変更による貴社への影響については、担当のマイクロソフト アカウント マネージャーまたはパートナーまでお問い合わせください。

アウトソーシング権に関連するライセンス条項はどのように変更されますか。

2019 年 10 月 1 日以降、パブリック クラウド プロバイダーであるマイクロソフト、Alibaba、Amazon (VMware Cloud on AWS を含む)、Google が提供する専用ホストによるクラウド サービスで、ソフトウェア アシュアランスおよびモビリティ権なしで購入したオンプレミス ライセンスを展開できなくなります。これらのプロバイダーのことを「Listed Provider」と呼びます。

変更後は、どうすればマイクロソフト製品のライセンスを Listed Provider から取得できますか。

今回の改定によるお客様への影響を最小限に抑えるために、対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービス上のマイクロソフト製品のライセンスを取得する以下のシナリオもサポートします。

- ・ [認定モビリティ パートナー](#)でもある任意の Listed Provider が提供する専用ホストによるクラウド サービス上で、[ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ](#)付きのマイクロソフトのライセンスを使用することができます。
- ・ 新たにリリースされた [Azure Dedicated Host](#) などで、ソフトウェア アシユアランス付きのマイクロソフトのライセンスを、更新された [Azure ハイブリッド特典](#)と共に使用できます。
- ・ [Services Provider License Agreement](#) (SPLA) プログラムに参加する Listed Provider、およびクラウド サービス料金にライセンスが含まれる Microsoft Azure オファリングを通じて、マイクロソフトのソフトウェアを使用できます。

今回の改定は、2019 年 10 月 1 日より前に購入されたライセンスには適用されません。これに該当する場合は引き続き、対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスでライセンスを取得したソフトウェアを展開することができます。

専用ホストによるクラウド サービスについて教えてください。

専用ホストによるクラウド サービスとは、一般的には、主要なパブリック クラウド プロバイダーがオンデマンドおよび従量制で柔軟にリソースを提供するサービスのことです。マルチテナント クラウド サービスと同じようなものと考えてください。

Listed Provider から提供される専用ホストによるクラウド サービスにはどのようなものがありますか。

Azure Dedicated Host、Amazon EC2 Dedicated Hosts、VMware Cloud on Amazon Web Services (AWS)、Google の単一テナント ノードなどがあります。

Listed Provider は、どこで確認できますか。

変更が有効となる 2019 年 10 月以降の製品条項に、各 Listed Provider へのリンクが記載される予定です。

今回のライセンスの変更は、こういった製品が対象になっていますか。

2019 年 10 月 1 日の時点でマイクロソフトのボリューム ライセンスで利用可能なすべてのオンプレミス ソフトウェアに、アウトソーシング条項の変更が適用されます。

今回の変更が適用されるのは新しいライセンスだけですか。それともソフトウェア アシユアランスなしの既存のライセンスにも適用されるのでしょうか。

変更は、2019 年 10 月 1 日以降に購入する新しいライセンスだけに適用されます。お客様が現在所有している権利は、発効日である 2019 年 10 月 1 日よりも前に購入したライセンスに基づいて使用している既存のバージョンの製品に引き続き適用されます。

2019 年 10 月 1 日以降にリリースされる新しいバージョンの製品にアップグレードする場合、または同日以降に新しいライセンスを購入する場合は、更新されたアウトソーシング条項に従う必要があります。

Microsoft Azure Dedicated Host とは何ですか？

Azure Dedicated Host は、お客様の組織専用の物理サーバーで 1 台以上の Azure 仮想マシンをホストできる新しい Azure サービスです。サーバーの容量は他のお客様と共有されません。お客様の組織では、単一テナント専用のハードウェアを利用できます。[こちらの記事](#)をご覧ください。

2019 年 10 月の製品条項の更新は、ソフトウェア管理のアウトソーシングにどう影響しますか。

2019 年 10 月の製品条項の改定では、一般的に、従来のアウトソーシング企業（「認定アウトソーシング企業」）の日常的な管理下にあるハードウェアにソフトウェアライセンスを展開するという、従来の権利が保持されます。この改定では、2019 年 10 月 1 日以降に購入したソフトウェア アシユアランスおよびモビリティ権なしのライセンスを対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスに展開できなくなることが示されます。対象プロバイダーは、製品条項に記載されるリンクから確認することが可能です。対象プロバイダーには、Alibaba、Amazon (VMware Cloud on AWS を含む)、Google、マイクロソフトが含まれます。

Listed Provider に関する変更はいつから適用されますか。

お客様は、既存のライセンスに基づいて、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで、引き続き既存バージョンのソフトウェアを使用できます。今回の変更は、2019 年 10 月 1 日以降に取得した新しいライセンス、または同日以降にリリースされた新しいバージョンだけに影響します。

サブスクリプション ライセンスでソフトウェアを使用しているお客様には、サブスクリプションの更新日または 2019 年 10 月 1 日以降に提供されるソフトウェアのバージョンへのアップグレード日のうち、いずれか早い方の日から新しい条項が適用されます。

専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新 よく寄せられる質問

有効なエンタープライズ加入契約がある場合、今回の改定の発効は 2019 年 10 月 1 日になりますか。それとも更新時になりますか。

今回の改定は、2019 年 10 月 1 日より前に取得したライセンスには適用されません。発効日が 2019 年 10 月 1 日より前の加入契約（「既存の加入契約」）にはすべて、以前の日付で有効な製品条項が適用されます。2019 年 10 月 1 日以降に既存の加入契約の下で取得した、2019 年 10 月 1 日より前にリリースしたバージョンの製品の補正発注ライセンスもすべて対象外です。2019 年 10 月 1 日以降に初めて利用可能になったバージョンの製品には、加入契約の発効日にかかわらず、改定版のアウトソーシング ソフトウェア管理条項が適用されます。

2019 年 10 月 1 日以降に加入契約を更新するお客様の場合はすべて、更新後に購入するすべてのライセンスの使用権に、製品のリリース日や展開する製品のバージョンにかかわらず、改定版のアウトソーシング ソフトウェア管理条項が適用されます。使用権は、アウトソーシング ソフトウェア管理条項を含め、お客様の加入契約が更新された後も永続ライセンスにおいて引き続き有効です。

特定の Listed Provider で展開済みのライセンスを持っていない場合、2019 年 10 月 1 日以降に、既存のライセンスをその Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスに移行することはできますか。

2019 年 9 月 30 日以前に取得したライセンスに基づく既存バージョンの使用に関しては、お客様がそれらを取得したときに有効であった製品条項が引き続き適用されます。ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項の更新は、2019 年 10 月 1 日以降に取得したライセンス、または同日以降にリリースされた新しいバージョンだけに適用されます。

2019 年 10 月 1 日以降にソフトウェア アシユアランスを更新したり、新しいバージョンにアップグレードしたりするとどうなるのでしょうか。

ソフトウェア アシユアランスを更新しても、お客様の既存バージョンの永続的な使用権に影響はありません。

2019 年 10 月 1 日以降にリリースされる新しいバージョンにアップグレードする場合、更新されたアウトソーシング条項に基づいてその新しいバージョンを展開する必要があります。

これらの Listed Provider 以外のクラウド プロバイダーで実行している場合はどうなりますか。

これらの変更は、Listed Provider のデータセンター外でのライセンスの展開および使用には適用されません。

専用ホストによるクラウド サービスのサードパーティ オファリングにも変更が適用されますか。

はい。Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスのファーストパーティ オファリングとサードパーティ オファリングの両方に変更が適用されます。

ソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項の更新は、認定モビリティ パートナーのサービスや製品でライセンスを展開する権利に影響しますか。

ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ権が拡張され、認定モビリティ パートナーである Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでライセンス モビリティの対象ライセンスを展開できるようになります。アウトソーシングに関する更新は、認定モビリティ パートナーの共有サーバーでライセンスを展開する権利には影響しません。

[Azure ハイブリッド特典](#)の条項の拡張は、Azure 上でのワークロードの実行オプションにどのように影響しますか。

これらの更新は、現在の Azure ワークロードに影響しますか。

Azure 共有サーバーで実行されるワークロードに関して、Azure ハイブリッド特典では Windows Server Standard のワークロード移行権が 31 日から 180 日に拡張されますが、それ以外に変更はありません。Azure ハイブリッド特典の更新は、主として新しい Azure オファリングである Azure Dedicated Host でのワークロード実行オプションに対処するためのものとなります。

Azure ハイブリッド特典の権利は、Azure 共有サーバーで実行されるワークロードと Azure Dedicated Host で実行されるワークロードとではどのように異なりますか。

SQL Server Standard と Windows Server Standard の場合には、Azure 共有サーバーと Azure Dedicated Host とで Azure ハイブリッド特典の権利に違いはありません。ワークロードを特定の環境から別の環境へ移行する場合のライセンス要件も同じです。

SQL Server Enterprise と Windows Server Datacenter の場合には、Azure Dedicated Host のワークロードのライセンスを仮想マシンまたは物理ホストのいずれかによって取得することができます。Azure Dedicated Host のワークロードのライセンスを仮想マシンによって取得する場合のライセンス要件は、Azure 共有サーバーでワークロードのライセンスを取得する場合と同じになります。ただし、ホストレベルで Azure Dedicated Host のライセンスを取得する場合には、Azure Dedicated Host で使用可能な物理コアと同数のコア ライセンスを割り当てる必要があります。それにより、ホスト上で仮想マシンを必要な数だけ実行できるようになります (ただし、ホスト自体に技術的な制約がある場合もあります)。

専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新 よく寄せられる質問

SQL Server および Windows Server のワークロードは、180 日以内に Azure Dedicated Host に移行してください。ホストレベルで Azure ハイブリッド特典を Azure Dedicated Host に適用する場合は、Windows Server Datacenter 用の Azure ハイブリッド特典のデュアル展開オプション (Azure とオンプレミスの両方でワークロードを同時に実行すること) は利用できなくなります。

専用ホストによるクラウド サービスでボリューム ライセンス製品を展開するのにソフトウェア アシユアランスが必要ですか (例: Azure Dedicated Host)。

2019 年 10 月 1 日以降にライセンスを取得した製品は、更新されたソフトウェア管理のアウトソーシングに関する条項が適用され、製品固有の使用権で許可されている場合を除いて、Listed Provider のサーバーで使用することはできません。Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用を許可する製品固有の使用権の例としては、Azure ハイブリッド特典 (Azure のみ)、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ (Azure またはライセンス モビリティの認定プロバイダー) があります。これらのライセンスには、ソフトウェア アシユアランスが必要になります。ただし、ライセンス付きのオフリングを通じて、Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider または Microsoft Azure がホストするソフトウェアを使用することもできます。

2019 年 9 月 30 日以前にライセンスを取得した既存の製品バージョンの使用に関しては、ライセンスの取得時に有効であった製品条項が適用されます。こうした場合の Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでのライセンスの使用については、通常はお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来 of 組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。

各製品のライセンスに関する更新

Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Windows Enterprise を実行できますか。ソフトウェアアシユアランスが必要になりますか。

2019 年 10 月 1 日以降に Windows Enterprise ライセンスを取得した場合、対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスで使用することはできません。ただし、以下のライセンスは除きます。(1) 対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスの Windows VDA E3/E5 ユーザー ライセンス、または (2) Azure 上の、あるいは対象となるマルチテナント ホスティングパートナーの専用ホストによるクラウド サービスの Windows 10 E3/E5 ユーザー ライセンス。

専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新 よく寄せられる質問

例外として、2019 年 10 月 1 日から 2020 年 10 月 1 日までの間に、Windows Enterprise の SA の適用範囲または E3/E5 サブスクリプションを更新するお客様には、既存の Windows Enterprise のワークロードを Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスに移行するための猶予期間が与えられます (2020 年 10 月 1 日まで)。

Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Office Professional Plus を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスが必要になりますか。

2019 年 10 月 1 日以降に取得した Office Professional Plus のライセンスは、ソフトウェア アシユアランスの有無にかかわらず、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません。Exchange、SharePoint、または Skype for Business とは異なり、Office Professional Plus には、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティが存在しません。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した Office Professional Plus のライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。

Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Exchange、SharePoint、または Skype for Business Server を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスが必要になりますか。

2019 年 10 月 1 日以降に取得したライセンスは、ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有し、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ権を行使する場合を除いて、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません。ただし、Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider がホストするソフトウェアを使用することはできます。

2019 年 9 月 30 日以前に取得したライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。

Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで Windows Server を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスが必要になりますか。

Windows Server には、ライセンス モビリティが存在しません。2019 年 10 月 1 日以降に取得した Windows Server のライセンスは、ソフトウェア アシユアランスの有無にかかわらず、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用で

専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新 よく寄せられる質問

きません (Azure Dedicated Host を除く)。Azure ハイブリッド特典に基づいて Azure Dedicated Host で使用することはできません。Windows Server のソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有するお客様のみ、Azure ハイブリッド特典を利用できます。専用ホストによるクラウド サービスで Windows Server を使用するためのもう 1 つの方法として、Azure または Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider により提供されるライセンス付きのサービスを利用することもできます。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した Windows Server のライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来の組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当する Windows Server のサブスクリプションの権利を有するお客様は、これらのライセンスに対して Azure ハイブリッド特典の権利を行使することもできます。

2019 年 9 月 30 日以前に購入したライセンスを持っている場合、Azure ハイブリッド特典を利用するとどのようなメリットがありますか。

Azure ハイブリッド特典では、仮想マシンごとにライセンスを取得することも (Datacenter または Standard)、物理ホストごとにライセンスを取得して、お客様が使用可能なコアの数だけコア ライセンスを割り当てることも (Datacenter のみ) できます。オンプレミス ライセンスでは、仮想マシンごとにライセンスを取得することはできず、サーバー上のすべての物理コアのライセンスを取得する必要があります。さらに、Azure ハイブリッド特典の権利に基づいて Azure Dedicated Host 上で Windows Server を使用する場合は、オンライン サービスの使用条件 (OST) によって使用が管理され、ベース CAL は不要になります。オンプレミス ライセンスでは、ユーザーまたはデバイスによるアクセスにベース CAL が必要です。OST に基づく Azure 使用権では、顧客がアクセスするためのソリューションを Azure 上でホストすることも認められます。

Listed Provider の (Azure 以外の) 専用ホストによるクラウド サービスで SQL Server を実行できますか。ソフトウェア アシユアランスがある場合はどうなりますか。

2019 年 10 月 1 日以降に取得した SQL Server のライセンスは、ソフトウェア アシユアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有し、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ権を行使する場合を除き、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでは使用できません。ただし、ライセンス付きのオフリングを通じて、Services Provider License Agreement プログラムに参加する Listed Provider がホストする SQL Server を使用することができます。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した SQL Server のライセンスの場合、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスでの使用については、通常はおお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。オンプレミス ライセンスを使用するには、サーバーのすべての物理コアのライセンスを取得するか、仮想マシンごとにライセンスを取得 (仮想マシンあたり 4 つ以上のライセンスを取得) する必要があります。

Azure Dedicated Host で SQL Server を実行できますか。ソフトウェア アシュアランスがある場合はどうなりますか。

2019 年 10 月 1 日以降に取得した SQL Server のライセンスは、ソフトウェア アシュアランスまたはそれに相当するサブスクリプションの権利を有し、Azure ハイブリッド特典の権利を行使する場合を除き、Azure Dedicated Host では使用できません。ただし、ライセンス付きのオフリングを通じて、Azure でホストされる SQL Server を使用することができます。

2019 年 9 月 30 日以前に取得した SQL Server のライセンスの場合、Azure Dedicated Hosts での使用については、通常はおお客様の独自のオンプレミス ハードウェアまたは従来組織専用の外部委託者のハードウェアでライセンスを使用する場合との一貫性が確保されています。ソフトウェア アシュアランスまたはそれに相当する SQL Server のサブスクリプションの権利を有するお客様は、Azure ハイブリッド特典の権利を行使することもできます。これにより、仮想マシンごとにライセンスを取得することも (Enterprise または Standard)、物理ホストごとにライセンスを取得して、お客様が使用可能なコアの数だけコアライセンスを割り当てることも (Enterprise のみ) できるようになります。オンプレミス ライセンスでも、仮想マシンごとにライセンスを取得することも (Enterprise または Standard)、物理ホストごとにライセンスを取得することもできますが、物理ホストごとにライセンスを取得する場合は、サーバーのすべての物理コアのライセンスを取得する必要があります。

Azure ハイブリッド特典を利用して Azure Dedicated Host にライセンスを割り当てた場合には、どのソフトウェア アシュアランスの権利が適用されますか。

Azure ハイブリッド特典の使用条件により、SQL Server のオンプレミスのフェールオーバーの権利に相当する権利が付与されます。また、ホスト レベルで SQL Server Enterprise Core のライセンスを取得している場合には、オンプレミスの無制限の仮想化の権利に相当する権利が付与されます。SQL Server と Windows Server の両方に対して、ディザスター リカバリーの権利と新しいバージョンの権利を行使できます。

Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで無制限の仮想化を利用できますか。

専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新 よく寄せられる質問

2019年10月1日以降に取得した SQL Server または Windows Server のライセンスでは、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで無制限の仮想化を利用する権利は付与されません。

2019年9月30日以前に取得した、ソフトウェア アシユアランス付きの SQL Server のライセンスの場合は、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで、SQL Server Enterprise Edition での無制限の仮想化を利用できます。お客様は、使用するサーバーのすべての物理コアにコア ライセンスを割り当てる必要があります。

2019年9月30日以前に取得した Windows Server のライセンスの場合は、Listed Provider の専用ホストによるクラウド サービスで、Windows Server Datacenter Edition での無制限の仮想化を利用できます。お客様は、使用するサーバーのすべての物理コアにコア ライセンスを割り当てる必要があります。

2019年9月30日以前に購入したライセンスに Azure ハイブリッド特典は適用されますか。

Azure ハイブリッド特典は、ソフトウェア アシユアランスが適用されるすべての Windows Server Standard/Datacenter ライセンスと SQL Server Standard/Enterprise Core ライセンス、およびそれに相当する権利が付与されるサブスクリプション ライセンスに適用されます。Azure ハイブリッド特典の詳細については[こちら](#)でご確認ください。

対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスで Visual Studio を実行することはできますか。

2019年10月1日以降にライセンスを取得した場合:

Azure のマルチテナント サービスで展開するために Visual Studio の最新のサブスクリプションをお持ちのお客様向けの既存のオプションは、Azure Dedicated Host にも適用されます。

他の対象プロバイダーによる専用ホストによるクラウド サービスで Visual Studio を使用する場合には、Services Provider License Agreement プログラムに参加している対象プロバイダーがホストするソフトウェアを使用することができます。

2019年10月1日より前にライセンスを取得した場合、対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスでの使用は通常、自社のオンプレミス ハードウェアまたは従来のアウトソーシング企業が提供する組織専用のハードウェアでの使用と同じ方法でライセンスを取得できます。

対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスで Microsoft Dynamics ソフトウェアを実行することはできますか。

ソフトウェア アシユアランスは必要ですか。

2019年10月1日以降にライセンスを取得した場合、対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスで使用することはできません。ただし、ソフトウェア アシユアランスまたは同等のサブスクリプションの権利がある Microsoft Dynamics 365

専用ホストによるクラウド サービスのライセンス条項の更新 よく寄せられる質問

Operations Server でソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ権を使用する場合は使用できます。他の Microsoft Dynamics 製品の場合や Operations Server の代替ソフトウェアとしてであれば、Services Provider License Agreement プログラムに参加している対象プロバイダーがホストするソフトウェアを使用できます。

2019 年 10 月 1 日より前にライセンスを取得した場合、対象プロバイダーの専用ホストによるクラウド サービスでの使用は通常、自社のオンプレミス ハードウェアまたは従来のアウトソーシング企業が提供する組織専用のハードウェアでの使用と同じ方法でライセンスを取得できます。